

NPO・市民活動を 活発にする地域の基金を考える

地域のエスプリ

を効かせて♪

- **市民活動応援☆きらきら基金**は、2011年に桑名員弁地域に生まれてから、7年目を迎えます。私たちは「まちを歩いていると自分の寄付の成果が見えるような、そんな市民活動を応援する小さな基金を作ろう」という思いのもとに、**身近で小さな市民活動に、たくさんの人たちからの応援を届けてきました。**
- 「休眠預金活用制度」が成立し、いま地域の基金に「**NPO・市民活動への多角的な支援体制**」が求められています。一方で**寄付のかたち**は多様化し、用途指定寄付・遺贈・ふるさと納税・クラウドファンディング・ドネーションなど、意志に副った選択が出来るようになってきました。
- 第3回は、**東京と佐賀から講師をお招きして**「休眠預金活用制度の現況」と「他県の基金の取組み」について学び、私たちの地域の基金について考えます。

第1部講演会 13:00～15:15

基調講演1 「休眠預金活用制度とNPO支援」

認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会代表理事 関口宏聡氏

基調講演2 「佐賀未来創造基金」

公益財団法人佐賀未来創造基金 理事長 山田健一郎氏

シるみるカフェ 「課題解決のプログラムを体験する」CAP みえ 志治優美氏

第2部討論会 15:30～17:00

第9回桑名員弁地域円卓会議 「NPO・市民活動を活発にする地域の基金」

平成30年 **7月19日(木)** 13:00～17:00 受付 12:30

くわなメディアライブ 1F 多目的ホール 桑名市中央町3丁目79番地

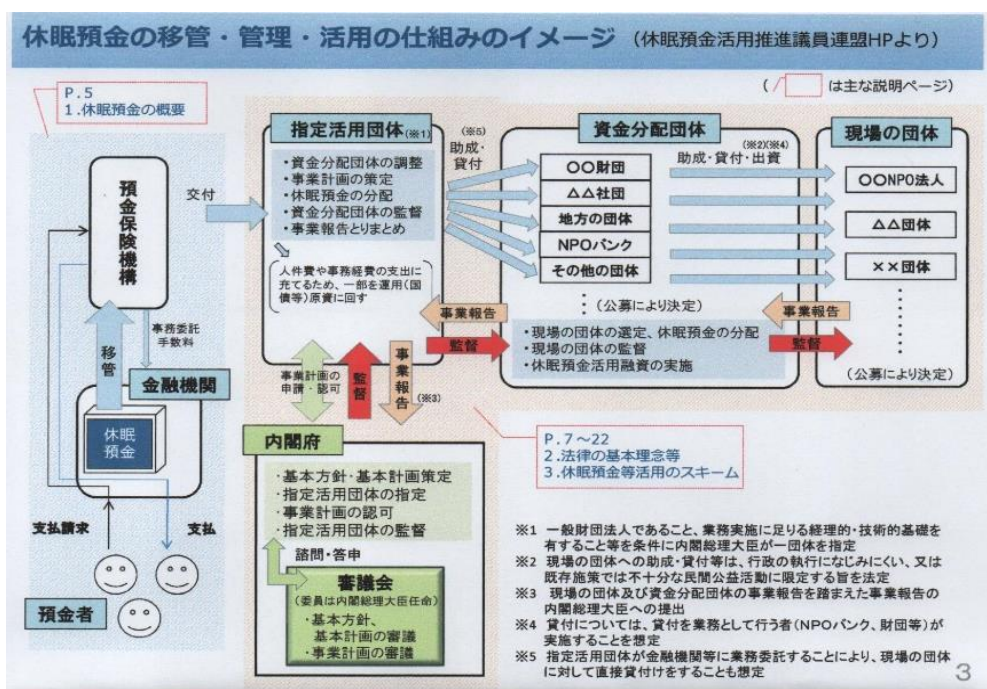
= 参加費無料 =

※お申し込み等については裏面をご覧ください。

主催 市民活動応援☆きらきら基金・認定NPO法人みえきた市民活動センター

■ 休眠預金活用制度の仕組み (内閣府資料よりhttp://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/index.html)

平成28年12月2日に「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（内閣府・金融庁）」が成立しました。「休眠預金等」とは10年以上入出金等の異動がない預金等で、毎年1000億円程の「休眠預金」が発生しています。このうち、払い戻し額（400億円～500億円程度）を除いた分が「民間公益活動」を促進するための支援に使われます。



■ 地域円卓会議参加者 (敬称略)

コーディネーター 認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会代表理事 関口宏聡

委員 エンパワメントみえ代表 志治優美

NPO 法人太陽の家代表 対馬あさみ

(株)デンソー大安製作所 総務人事厚生課 森 浩子

(株)三重銀総研 総務部長兼調査部主席研究員 先浦宏紀

公認会計士/税理士 黒田朱里

行政書士/パソコン要約筆記サークル「ことのは」代表 加藤 等

桑名商工会議所監事/きらきら基金運営委員会代表 小笠原まき子

きらきら基金運営委員会事務局長 白尾豪紀

認定 NPO 法人みえきた市民活動センター理事長 近藤順子

アドバイザー 公益財団法人佐賀未来創造基金理事長 山田健一郎

参加申込書 下記にご記入の上、このまま FAX で送信して下さい。E-mail や電話でも受付します。

お名前	ご所属	
TEL	FAX	e-mail

申し込み先 認定 NPO 法人みえきた市民活動センター 担当：川戸由起

〒511-0088 三重県桑名市南魚町 86 めがね工房ごうじ内

TEL0594-27-2700 FAX0594-27-2733 e-mail : kawato@rivers-ld.jp